

令和5年度志木市立宗岡小学校 第2回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年7月11日（火） 11:00～11:40

2 場所 志木市立宗岡小学校 多目的室

3 出席者

学校運営協議会委員 津田 美奈	学校運営協議会委員 大熊 克範	学校運営協議会委員 (欠席)内田 義明	学校運営協議会委員 (欠席)石井 英男
学校運営協議会委員 新井 京子	学校運営協議会委員 田中 直広	学校運営協議会委員 細田 大二郎	学校運営協議会委員 若杉 一輝
学校運営協議会委員 (欠席)坂田 章法	志木市立宗岡小学校長 小木曾 久美子	—	—

【司会 会長 記録 岩崎 壮志】 (計7名)

4 協議内容

(1) 小中一貫教育の推進状況（むねおか学）について（教頭）

【質疑応答】

○職場体験の受け入れ先がコロナ禍の影響で減っているとのことだが、宿泊学習を野辺山からスキー林間学校に変えたことがきっかけとも聞いている。現状、中学校からの打診がなく、再開を期待している。再開の時期について見通しはあるのか。

→コロナ以外の理由もあると認識している。一度止めてしまった職場体験を復活させることは非常に労力を要する。受け入れ先の再度の掘り起こしも含めて、この時間と労力を生み出すことが難しいのではないかと考える。

→宗岡第二中において、職員や生徒の実態に合わせて再開の是非が検討されている。

→むねおか学では、職場体験を実施できない場合の代替案も含めて提示している。

○ボランティア体験や芝桜の草むしり等、職場体験に拘らなくても良いのでは。

→宗岡第二中に1つの意見として伝える。

○今回のむねおか学は小中一貫教育グランドデザインをさらに掘り下げた内容か。

→掘り下げた内容である。カリキュラム構想の形をさらに掘り下げて協議を重ねている。

○資料にある図は3校で打ち合わせて提示しているのか。

→9か年の単元計画は全体として既に提示しており、8学年の内容を除けば、大筋変わることはない。全体のイメージ図は、今後の叩き台として新たに作成したため、8月の合同研修会で協議を行う。表記や細部の内容は、3校でのイメージを一本化するために協議を重ねていく。

【意見】

- ・むねおか学（総合的な学習の時間）は宗岡小が中心となり作成を進めているが、各校にズレなく落とし込めるかが重要である。
- ・ボランティア活動の意見も検討・参考とするが、あくまでも学習指導要領との関連がある。「探究活動」として深め、広げられる内容となるかが論点になる。

- ・むねおか学には多くのアイデアが詰まっていて、地域や保護者、児童に伝わりやすい。3校の新しい教職員にも伝わり、誰が指導しても同質以上の教育が維持できるようにしてほしい。
- ・地域自体も教職員の挑戦を応援する雰囲気醸成することが大切である。
- ・宗岡地域は人財が強み。地域との関わりに力を注いで欲しい。
- ・郷土を知る、水害の歴史等において地域に学びがたくさんある。
- ・職場体験は非常に大切で、協力先の掘り起こしが大変なことも理解できる。職場に限らず宗岡の歴史や伝統は思っている以上に地域にあるので活用してほしい。
(例) 祭り→ただ賑やか楽しいではなく、なぜ祭りがあるのかを考える。
- ・宗岡の人財は豊富で、お互いの顔が分かる近い関係。世代を超えて繋がりがたくさんあるので、ぜひ活用して欲しい。
- ・「シン・むねおか」の「シン」の解釈にたくさんの教職員の思いを感じた。
- ・コロナを経て、従前に戻すべき行事、戻すべきでない行事については一人一人の感覚が違うので難しいと感じる。
- ・受け入れ先は大変だが、職場体験は是非復活してほしい。

(2) 学校経営経過報告（校長）

- ・授業参観は1年生と新しく着任した教職員を中心に見ていただく。
- ・1年生の様子について。
- ・今後の運動会の在り方について検討したい。
- ・修学旅行（6年生の様子）について
- ・宿泊学習（5年生の様子）について
- ・小中一貫の進捗状況について
- ・チャイルドガードの案内文における項目の新設について

○チャイルドガードについて、登録名が変更になる場合があるため、学校から出す案内には報告を求める項目を新設した方がよいのではないかと。（変更になった場合は、町内会で名簿を変更する。）

→次年度反映させる。

5 諸連絡

6 閉会